

特定教育・保育施設 個別施設計画

池田市

池田市教育委員会

1 目的

本計画は、本市が保有する特定教育・保育施設について、長期的視点から財政負担の軽減・平準化を図りながら老朽化対策等に計画的に取り組むために定めます。

また、本計画は国の「インフラ長寿命化基本計画（平成25年11月「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」で決定）に基づく「個別施設ごとの長寿命化計画」（個別施設計画）としても位置づけます。

2 対象施設等

(1) 対象施設

この計画において対象とする施設は、石橋保育所、古江保育所、呉服保育所、五月丘保育所、なかよしこども園、さくら幼稚園、ひかり幼稚園、あおぞら幼稚園とします。

(2) 計画期間

本計画の期間は、平成30年度から平成40年度とします。

(3) 計画の見直し

今後の定期的な点検等による見直しや事業の進捗状況等及び社会情勢や教育・保育施設の利用ニーズの変化等の必要に応じ、計画を見直すこととします。

3 特定教育・保育施設の現状とこれまでの取組

(1) 現状

本市の乳幼児数（0歳～5歳）は減少する一方で、核家族化や就労形態の多様化、求職要件の緩和等に伴い保育需要は高まりの一途を辿っています。公私立保育所等（2・3号認定施設）の入所者数は増加し、各施設とも定員を上回る入所状況となっています。

一方で公立幼稚園の入園者数は年々減少し、各施設とも定員を下回る入園状況となっています。

こうした状況を踏まえ、効率的な施設運営、複数学級の確保による質の高い教育・保育の提供、幼保一体化に向けた検討を進めています。

	乳幼児人口	保育所等入所者数 (2・3号認定)	うち公立	幼稚園等入園者数 (1号認定)	うち公立
19年度	5,543人	1,185人	509人	1,796人	524人
29年度	5,038人	1,616人	465人	1,698人	342人
差	▲505人	431人	▲44人	▲98人	▲182人

※公立保育所の減少理由は民営化によるもの

(2) これまでの取組

平成8年12月に「池田市行財政みなおし推進計画～みなおし‘97～」を策定し、平成9年度をみなおし元年と位置付けて以降、現在に至るまで3期にわたる行財政改革を推進しており、公共施設の見直し・統廃合等、効率化に取り組んできました。

公立保育所については、平成13年度から平成27年度までの間に5所の民営化を行い、平成31年度には新たに1所の民営化を予定しています。

公立幼稚園については、平成16年4月に11園を4園及び1民営化園に再編を行いました。

これらの取組により、維持管理や運営に要する経費の削減等、効率化に努め、現在、保育所5所、幼稚園4園となっています。(※保育所1所と幼稚園1園はこども園として運営)

4 対策の優先順位の考え方

特定教育・保育施設の個別施設の劣化の状態等と、各施設の利用ニーズを勘案し、個々の施設の特性に応じた優先順位の考え方を整理する必要があります。優先順位の設定にあたっては、以下の考え方を基に優先度を判断します。

〔優先順位の考え方〕

- ①特定教育・保育施設の管理の方向性
- ②建物健全度の程度
- ③利用状況

5 個別施設の状態等

①特定教育・保育施設の管理の方向性

施設名	今後の検討・議論の方向性等
石橋保育所	耐震性が不足している複合施設であるため、石橋保育所は廃止を含めて、さらに検討します。 ⇒統廃合等あり方の検討
古江保育所	北部地域唯一の公立保育所並びに子育て支援拠点として、計画的に修繕を行っていきます。 ⇒存続
呉服保育所	平成31年度にひかり幼稚園と一体化し、幼保連携型認定こども園に移行します。呉服保育所は廃止します。 ⇒集約化
五月丘保育所	平成31年度に民営化します。
なかよしこども園	地域集会施設との複合施設である保育所棟は耐震化、バリアフリー化の目的で平成30年度に建替を行い、平成31年度から幼保連携型認定こども園として存続します。
さくら幼稚園	木造園舎については、2棟共200㎡程度の平屋であること、平成15年度に園舎改修をおこなっていることなどから、耐震診断は不要との判断をしているところですが、定員を満たしていないということもあるため、園児数に見合う施設規模への縮小を含め、今後検討します。 ⇒統廃合等あり方の検討
ひかり幼稚園	平成31年度から呉服保育所とひかり幼稚園を一体化し、幼保連携型認定こども園に移行します。 ⇒集約化
あおぞら幼稚園	定員を満たしていないため、園児数に見合う施設規模への縮小を含め、今後検討します。 ⇒統廃合等あり方の検討

② 建物健全度に関する指標

建物健全度については、集約化が必要な呉服保育所及びひかり幼稚園を対象とし、平成29年度に実施した現況調査から各施設の劣化状況を「現況劣化度」として定量化し把握しました。

〔現況評価結果一覧〕

建物概要						劣化基準						耐震基準
施設名	建物名	建築年度	延床面積(m ²)	構造	階数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度	
石橋保育所	石橋保育所	1970	366.93	RC	1							×
古江保育所	古江保育所	1975	1064.00	RC	2							○
呉服保育所	呉服保育所	1975	722.02	RC	2	C	B	B	C	C	63	○
五月丘保育所	五月丘保育所	1976	739.11	RC	2							○
なかよしこども園	保育所棟	1972	561.80	RC	1							×
	幼稚園既存園舎	1972	585.00	RC	1							○
	幼稚園別棟	2007	82.00	S	1							○
さくら幼稚園	保育棟	1957	201.00	W	1							-
	保育棟	1962	235.00	W	1							-
	玄関・管理棟	2003	158.00	S	1							○
	玄関・管理棟	2003	40.00	S	1							○
あおぞら幼稚園	管理棟	1971	756.00	RC	2							○
	管理棟	2003	195.00	S	2							○
	玄関・遊戯室棟・保育棟	2003	35.00	S	1							○
	玄関・遊戯室棟・保育棟	2003	122.00	S	1							○
ひかり幼稚園	保育棟	1979	619.00	RC	1	B	B	B	B	B	75	○
	管理棟	2004	556.00	S	2	B	A	A	A	A	98	○

③ 利用状況

■平成28年5月1日時点

(単位：人)

No.	名称	定員 合計	0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		入所数 合計	定員比 入所率
			定員	入所数	定員	入所数	定員	入所数	定員	入所数	定員	入所数	定員	入所数		
1	石橋保育所	60	0	-	10	11	10	14	12	16	14	13	14	15	69	115.00%
2	古江保育所	60	6	3	8	9	10	7	12	10	12	8	12	11	48	80.00%
3	呉服保育所	110	12	8	16	20	18	22	20	25	22	26	22	28	129	117.27%
4	五月丘保育所	110	12	6	16	18	18	21	20	26	22	21	22	25	117	106.36%
5	なかよしこども園 (保育所部分)	110	12	9	16	20	18	23	20	25	22	25	22	25	127	115.45%
公立保育所(計)		450	42	26	66	78	74	87	84	102	92	93	92	104	490	108.89%
1	さくら幼稚園	140	-	-	-	-	-	-	-	-	70	45	70	60	105	75.00%
2	あおぞら幼稚園	195	-	-	-	-	-	-	-	-	90	53	105	65	118	60.51%
3	ひかり幼稚園	195	-	-	-	-	-	-	-	-	90	49	105	63	112	57.44%
4	なかよしこども園 (幼稚園部分)	65	-	-	-	-	-	-	-	-	30	17	35	22	39	60.00%
公立幼稚園(計)		595	0	0	0	0	0	0	0	0	280	164	315	210	374	62.86%

6 対策内容と実施時期

(1) 対策内容の考え方

建物は経年により劣化する一方で、各施設修繕・改修を行わなければ子どもの教育・保育環境の安全面、衛生面において支障が生じます。平成28年3月に策定した「池田市公共施設等総合管理計画」では、計画期間における対象施設の概算事業費について約5億6千万円と想定しており、その後の10年でさらに約17億8千万円の費用が見込まれています。

また、平成28年度において少子化により児童数が減少していく中でも、呉服保育所は教育・保育施設の中で最も子どもの入所率が高い一方で、ひかり幼稚園は最も子どもの入所率が低い状況です。

こうした状況を踏まえ、施設規模が公立幼稚園で最も大きいひかり幼稚園の施設を効率的かつ効果的に活用し、ひかり幼稚園から約300mと近接している呉服保育所を一体化することにより、高まる保育需要への対応を図るとともに質の高い幼児教育・保育の一体的提供を行うものです。具体的には、ひかり幼稚園の敷地内に新しい園舎を設置し、借地である呉服保育所を廃止することによって集約化を図り、施設を再構築することにより、機能更新をはじめ管理経費や借地料等のコストの削減を行うものです。

また、統廃合等あり方の検討となっている施設については、期限を定めて施設の方角性を検討します。

(2) 施設整備内容

呉服保育所とひかり幼稚園の一体化において、ひかり幼稚園の敷地と建物を活用し、幼保連携型認定こども園を設置するために必要な以下の施設整備を行います。

①新園舎の増築

0歳児から3歳児までの保育室、調理室等の整備

②既存園舎の改修

4歳児及び5歳児の保育室の改修・移設、遊戯室の移設等

2つの施設を集約化することにより、延床面積が約111.12㎡減少します。

	呉服保育所	ひかり幼稚園	合計①	集約化後②	差(②-①)
延床面積	722.02㎡	1175.00㎡	1,897.02㎡	1785.90㎡	▲111.12㎡

(3) 実施時期等

平成30年度に(2)に記載の施設整備工事を行い、平成31年度4月から幼保連携型認定こども園に移行します。また、呉服保育所は借地であるため、施設整備後は園舎解体工事を行い、借主に返還します。

7 対策費用

平成30年度	認定こども園施設整備工事費	約374,700千円
平成31年度	呉服保育所解体工事費	約 30,000千円